

山際塾長のこだわり教育論 6

勉強は楽しいもの、人間としての喜び

そもそも勉強とは何でしょう？

それはつらいものなのでしょうか。イヤな事なののでしょうか？

今の世、勉強を他人に勝つための道具にしたり、テストの点に異常にこだわりすぎたりで、いつの間にか、子どもに「勉強をつらいモノ、苦しいモノ」と、思わせてしまい、勉強嫌いになったり、傷つく子どもが、増えてしまっているようです。

でも本当は、そうではないはずです。学習し知識を得て、考えたり感じたり想像する力を高めることは、人間としての喜びであって、本来楽しい事のはずです。

勉強は、知識を得て頭脳を活性化させ、人間として生きていくための基礎を作ります。子どもは、わかる喜び、知る楽しさ、という実感にて、これを身につけ成長します。

未来教育やまぎわ塾では、勉強は楽しくてすばらしい事、という前提から、子どもに勉強の楽しさを実感させ、「知る楽しさ・わかる喜び・できる喜び」を体感させ、自らやる気を出して進んでやれる教育をすすめています。

受験勉強は自己実現の一つです

また受験勉強は自己実現の一つでもあり、正しい競争は、社会進歩にも重要です。受験競争にうち勝つように努力することや、地道な努力と工夫、つよい精神力を養うこと等、そのプロセスは尊く、自分をきたえるにはすばらしいことです。

その過程で、人間としての尊厳や、正しいものの見方、考え方を身につけ、豊かな発想力と思考力をつちかかっていくものです。

未来教育やまぎわ塾も、むろん徹底的に「勝つ受験教育」を行い、一人残さず合格に導くよう指導しています。そして毎年輝かしい合格実績を示しています。

しかし受験勉強は、ただ合格さえすればよいというものではなく、そのプロセスが絶対に大切です。

昨今の子どもたちを取り巻く状況は、ますます厳しくなっています。子どもが被害者になる凶悪事件が近年多発し、いじめや学級崩壊なども増え続けています。

テストの点数ばかりにこだわったり、他人を蹴落^けとし、勝利することだけを教えるような一部の大手進学塾の「ゆがんだ受験教育」では、テストの成績は良くても、人間的には「？」というような子どもや、「学校は出たけれど・・・」というように、人間としての最も大切なモノを失ってしまうおそれがあると思います。

未来教育やまぎわ塾では、ただ「勝つ受験教育」だけではなく、そのプロセスを重視しています。

勉強は楽しくできます

勉強は山登りにも似ているのです。一步一步の歩みが最高峰へと連れていってくれます。いきなり「あの高い山に登れ」と強制されても、子どもには苦しいばかりでしょう。

勉強がイヤになるのは、分からないことをムリにやらされるからです。

やまぎわ塾では勉強が楽しく、時間を忘れて、どんどん進めるのは、分からないときにはすぐに先生が、そばに来て教えてくれるからです。

やまぎわ塾では、生徒からの質問がなくても、教師の方から、常に生徒にかかわり、やさしく親切に指導していくシステムを確立しています。

またやまぎわ塾では、確実に立ち止まることなく歩き続けるよう、一人一人の生徒に、わかりやすい形で目標を設定し、毎回の授業ごとに達成すべき学習内容を生徒に提示します。

生徒は、小さな山をいくつも越える喜びと達成感を味わうことで、励みになり、自信を持てるようになります。

自信を持つから、いっそうやる気が出て、勉強がよく分かるようになり、その好循環で、勉強がどんどん楽しくなってくるのです。

そしてやまぎわ塾では、**優しさや他人を思いやる心、温かい人間関係**が、教室内の空気として流れています。

教師と生徒の心のふれあいの中で、子どもたちは、**人間としての大切な道理や生き方**なども学んでいくのです。